

第21課 小林さんは目が大きいです

大切な表現

1. 東京は交通が便利です。
鈴木さんは顔が長くて、目が小さいです。
2. このマンションは日当たりもいいし、眺めもいいです。
3. このアパートは交通は便利ですが、家賃は高いです。

Can-do／学習目標

- ・人や物事の特徴について述べることができる。

文法項目

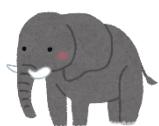
1. N1 は N2 が～
2. ～は～も～し、～も～
3. ～は～は～が、～は～

導入

1. N1 は N2 が～

①形容詞の復習と、「い形容詞」と「な形容詞」の「接続（て形）」を確認する。

②板書 全体：主題(名詞) + は + 部分的：特徴や特質(名詞) + が + 形容詞/形容表現



- ・象は鼻が長いです。
- ・象は目が小さいです
- ・象は耳が大きいです。

③p 29 の重點句型1を見せ、母語干渉により学生が間違えやすい「東京は交通が便利です」と「東京の交通は便利です」の使用上の差異を説明する。

④p 30 の「象は鼻が長くて、足が太いです」の並列表現の例を使い、「～は～が～て、～が～」という複合文型も提示する。

2. ～は～も～し、～も～

①板書 接続の比較 [又～又～]

	用法	詳細
富士山は高くて、きれいだ。	並列兩個形容詞	客觀描述・單純連接
富士山は高いし、きれいだ。	列舉多個理由或特點	主觀、帶評價・帶有「而且」的語氣
映画を見たり、散歩したりする。	列舉「動作」	多個動作的舉例表達

②板書 主題の特徴の並列表現 [又～又～]

Step1 主題 + は + 形容表現1 + し、形容表現2。

：富士山は高いし、きれいです。

：この店は安いし、おいしいです。

③ p 30~31 の例を提示しながら、**特徴/特質(名詞)**の後続助詞が「が・を」から「も」に置換され、評価を強調するニュアンスを強めることを説明する。また「が・を」以外の助詞についても下記のように説明する。

が ⇌ も	を ⇌ も	へ ⇌ へも	で ⇌ でも	に ⇌ にも
-------	-------	--------	--------	--------

Step2 **主題+は+特徴/特質1(名詞)+も+形容表現1+し、特徴/特質2(名詞)+も+形容表現2。**

: この店は値段も安いし、料理もおいしいです。

: 山田さんは学校もよく休むし、宿題も全然出しません。

: 象は鼻も長いし、耳も大きいし、かわいいです。

注意事項 : 助詞「も」の位置の混乱を防ぐため、**特徴/特質(名詞)**がない場合は形容表現だけでいいと教える。

④ p 30~31 の例を参照しながら、この文型は主題の複数の特徴を並列的に提示し、話者の評価的立場（肯定・否定）を明示的に示す際に使用される文型であると教える。

⑤ また、普通体・丁寧体の混用を防ぐため、文体を統一してもいいと伝える。

3. ~は~は~が、~は~

① 板書 **主題の特徴の対比/対象表現 [雖然～但是～]**

Step1 **主題+は+形容表現1+が、形容表現2。**

: この店は安いですが、おいしいです。

② p 32~33 の例を提示しながら、**特徴/特質(名詞)**の後続助詞が「が・を」から「は」に置換され、主題に対することなる側面（長所・短所）の対比を強調するニュアンスを強めることを説明する。また「が・を」以外の助詞についても下記のように説明する。助詞「は」の2重使用に慣れていないため、誤用が生じるかもしれないが、それぞれの「は」の用法に注意を促す。

が ⇌ は	を ⇌ は	へ ⇌ へは	で ⇌ では	に ⇌ には
-------	-------	--------	--------	--------

Step2 **主題+は+特徴/特質1(名詞)+は+形容表現1+が、特徴/特質2(名詞)+は+形容表現2。**

: 山田さんは背は高いですが、足は短いです。

: この店は値段は安いですが、料理はおいしいです。

: このかばんは品質はいいですが、高すぎます。

注意事項 : **特徴/特質(名詞)**がない場合は形容表現だけでいいと教える。

③ また、普通体・丁寧体の混用を防ぐため、文体を統一してもいいと伝える。

教え方のワンポイント

1. N1 は N2 が~

練習 1 N1 は N2 が~①

* まず、絵カードや形容詞リストなどで、既習の形容詞を復習する。

* 中国語から日本語への翻訳練習をさせる際は、p 29 の重點句型 1 の母語干渉による学生の言い間違えに注意を促す。

会話 1

- * 「木原さんの出身はどちらですか。」の「どちら」は「どこ」と同じ意味だが、「どちら」のほうが丁寧で柔らかいニュアンスがあるので初対面・目上・正式な場面でよく使用されると説明する。また、会話の相手によって「どちら」と「どこ」を使い分けるようにと伝える。
- * 「長野なんですか。」の「～んですか」は第19課に出てきたが、相手から何らかの情報を得、その情報を前提に話者が相手を気遣ったり、相手に興味を持ったことを表すと説明する。
- * 「～すぎる」は過度な程度表現であり、動詞（第19課）だけでなく形容詞にも接続すると説明をする。また、形容詞+すぎるという形になったら、何類の動詞でも形容詞でも第2類動詞として扱うことを伝える。（其他文法事項1）
- * 「まあ、田舎ですからね。」の「まあ」は、相手から何か質問をされ、どう答えたらいいか分からぬ時に使うと説明する。（其他文法事項3）
- * 「やっぱり東京が好きだなあ。」の「普通体+なあ」は、感嘆・願望・回想などを表す時に使用されると説明する。（其他文法事項4）

練習 2-I N1 は N2 が～②

- * まず、顔のパーツの単語（顔・目など）を絵カードなどで覚えさせる。
- * 次に、「髪が長い」のような「部分的特徴や特質+が+形容詞/形容表現」の表現を覚えさせる。
時間に余裕があれば、「中国語」から「日本語」への翻訳練習をさせてもいい。

学生 A：「頭髪很長」？

学生 B：「髪が長い」

学生 A：「耳朵很大」？



学生 B：「耳が大きい」

練習 2-II N1 は N2 が～②「いろいろな顔」

- * まず、名前の呼び方（太田さんなど）を練習させる。
- * 次に、それぞれの顔の特徴をペアで確認する。
- * 並列表現の確認のため、p30の「象は鼻が長くて、足が太いです」の例を提示し、「い形容詞」と「な形容詞」では、接続の仕方が異なることを確認する。また、形容詞「いい」の変化は不規則なので注意を促す。

* ペアになって、下記のように練習をさせる。

板書 **主題+は+特徴+が+形容詞/形容表現。**

主題+は+特徴+が+形容詞/形容表現のて形、特徴+が+形容詞/形容表現。

学生 A：太田さんはどんな顔でしょうか。

学生 B：太田さんは目が大きいです。

学生 A：そうですね。それから？

学生 B：太田さんは、顔が四角くて、眉が太いです。



練習 2-III N1 は N2 が～②「人の特徴」

- * まず、人の特徴のパーツの単語（背・首など）を絵カードなどで覚えさせる。
- * 次に、「背が高い」のような「部分的特徴や特質+が+形容詞/形容表現」の表現を覚えさせる。

時間に余裕があれば、「中国語」から「日本語」への翻訳練習をさせてもいい。

学生 A : 「個子很高」？



学生 B : 「背が高い」

学生 A : 「腰很細」？

学生 B : 「ウエストが細い」

* 「体が太っている」「体がやせている」は、動詞「太る」「やせる」の状態表現であり、並列表現の際は「～ていて、～」となると教える。（其他文法事項2）

* 「太い」と「太っている」の違いを理解させる。

日本語	品詞	中国語	用法	例文
太い	形容詞	粗・寛	体や物の一部分	このペンは太い。 彼は足が太い。
太っている	動詞	胖	人全体の体形	彼は太っている。

* ペアになって、下記のように練習をさせる。

板書 **主題**+は+**特徴**+が+形容詞/形容表現。

主題+は+**特徴**+が+形容詞/形容表現の**て形**、**特徴**+が+形容詞/形容表現。

学生 A : 光二君はどんな人でしょうか。



学生 B : 光二君は目が大きいです。

学生 A : そうですね。 それから？

学生 B : 光二君は色が黒くて、体がやせていて、足が長いです。

* 顔や人の特徴を述べる際、強調したいところや、体の上から下に向かって説明することが多い。

* 時間に余裕があれば、家族やクラスメートの特徴を紹介させてもいい。

会話 2

* 「犯人はどんな男でしたか。」の「～でしたか。」は、男性を見た過去の時制に合わせている。

* 「そんな顔じゃなくて、～」は「～ではなくて、」の口語で、前項を否定し、後項で補足・訂正・対比する接続表現だと教える。（其他文法事項5）

* 「もっと」が重複されているのは、強調のニュアンスのためだと伝える。

* 「つい [不知不覺地・不小心就（做了）]」は「つい飲みすぎた（第19課）」に出てきたが、意識しないでてしまった行動を後悔する副詞だと伝える。

2. ～は～も～し、～も～

練習 3 このマンションは日当たりもいいし、眺めもいいです。

* 助詞「も」への置換と文体の統一にも注意を促しながら、練習させる。

が ⇌ も	を ⇌ も	へ ⇌ へも	で ⇌ でも	に ⇌ にも
-------	-------	--------	--------	--------

* 練習3の練習が終わったら、文型の定着を図るため、質問形式で練習をさせてもいい。特徴の部分は、教科書以外の答えでもいいとする。

学生 A : このマンションはどんなマンションですか。

学生 B : 日当たりもいい（です）し、眺めもいいです。

学生 A : このうちはどんなうちですか。

学生 B : 部屋も広い（です）し、交通も便利です。

* 時間に余裕があれば、下記のようなトピックで練習させてもいい。ただの並列表現にならない
ように話者の評価的立場（肯定・否定）を明確にすることに再度注意を促す。

- ・クラスメートの～さんはどんな人ですか。
- ・大谷翔平/陳傑憲…はどんな人ですか。
- ・京都/東京/大阪…はどんな街ですか。
- ・台北/花蓮/台南…はどんなところですか。
- ・象/キリン/うさぎ…はどんな動物ですか。

3. ～は～は～が、～は～

練習4 このアパートは交通は便利ですが、家賃は高いです。

* 助詞「は」への置換と文体の統一にも注意を促しながら、練習させる。

が	⇒	は	を	⇒	は	へ	⇒	へは	で	⇒	では	に	⇒	には
---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	----	---	---	----

* 練習4の練習が終わったら、文型の定着を図るため、質問形式で練習をさせてもいい。特徴の部分は、教科書以外の答えでもいいとする。

学生A：このアパートはどんなアパートですか。

学生B：交通は便利だ/ですが、家賃は高いです。

学生A：このうちはどんなうちですか。

学生B：家賃は安い（です）が、周りはうるさいです。

会話3

* 「駅には近いですか。」の助詞「に」は、距離の遠近基準を表すと説明する。（其他文法事項6）

* 「通勤に便利な所がいいんですけど…。」の助詞「に」は、対象を表すと説明する。（其他文法事項7）

* 「通勤に便利な所がいいんですけど…。」の「けど…」は、ここでは「いいところを紹介してもらえませんか。」という依頼の「前置き」の用法だと説明する。

* 「ええと」は、場つなぎの言葉で、会話が自然に聞こえる効果を持つと伝える。